

学力向上フロンティアスクール用中間報告書（中学校用）

都道府県名	千葉県
-------	-----

I 学校の概要（平成15年4月現在）

学校名	木更津市立木更津第二中学校					
学 年	1年	2年	3年	特殊学級	計	教員数
学級数	5	5	6	1	17	32
生徒数	192	175	201	3	571	

II 研究の概要

1 研究主題

意欲的な学びを育む数学・英語の授業の工夫  
～習熟度別少人数授業やTTによる実践的研究～

2 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

- ・全学年の数学では習熟度別の少人数授業を実施する。  
【理由】生徒の学習内容の理解、習熟度の差が大きい実態がある。一人一人の生徒を伸ばす指導を一層充実するため、習熟度別少人数授業を実施する。
- ・1年生の英語ではTTにより個に応じた指導を実現する。  
【理由】入門期の学習でつまずき防止を強力にするために、1年生の英語でTTによる“きめ細かな授業”を実施する。

(2) 年次ごとの計画

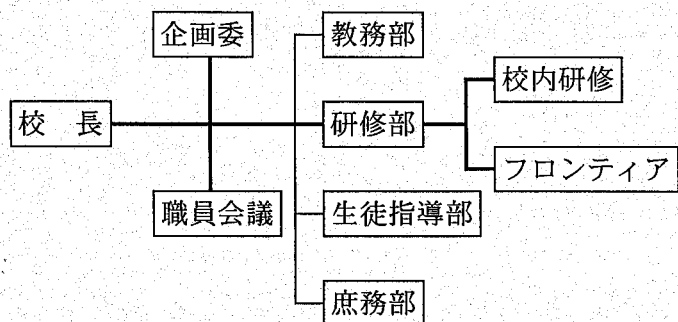
- |        |  |
|--------|--|
| 平成14年度 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ テーマ…意欲的な学びを育む数学・英語の授業の工夫</li> <li>○ 研究の見通し<br/>習熟度別少人数授業やTTを実践する中で、意欲的な学習に取り組み生徒の育成を目指していく。</li> <li>○ 研究の内容<br/>学級の生徒をレディネスの程度により2コースに分け、少人数授業を実施する。できるだけ課題解決型の授業を構成していく。</li> </ul> |
|--------|--|

- |        |   |
|--------|---|
| 平成15年度 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ テーマ…意欲的な学びを育む数学・英語の授業の工夫</li> <li>○ 研究の見通し<br/>学習内容に応じて少人数授業やTTを行うとして、一斉授業を含め、きめ細かな指導に適した授業形態を工夫する。</li> <li>○ 研究の内容<br/>年間指導計画でCレベルの生徒の支援策を具体化し、きめ細かな授業を工夫し実践、改善することで、研究テーマに迫るとする。</li> </ul> |
|--------|---|

平成16年度	○ テーマ…意欲的な学びを育む数学・英語の授業の工夫
	○ 研究の見直し 学習内容に応じて少人数授業やTTを行うとして、一斉授業を含め、きめ細かな指導に適した授業形態を工夫、改善する。
	○ 研究の内容 評価規準を明確にした単元指導計画のコース毎の見直しと評価問題の質的検討及び改善。少人数授業モデルの作成ときめ細かな指導の追究。

(3) 研究推進体制

・組織図



・フロンティア事業は、主に数学科、英語科の職員で取り組む。

Ⅲ 平成15年度の研究成果及び今後の課題

1 研究の成果

(1) 計算の技能は確かに定着しているといえる

本校は15年度教育課程実施状況調査のサンプル抽出校である。13年度当時、同調査で出題された(χ-5)を展開する問題は、今年度も出題されたが、正答率は全国平均(13年当時)を上回っている。また、比較の詳細については、年度内に発行予定の「木二中 フロンティアスクール2年間の歩み(仮称)」に譲るが、総じて計算・技能面での定着は認められる。

(2) TTによるきめ細かな指導で「話す」力は確かなものになっている

ALTとの、あるいは日本人同士の会話に多く触れることで、英語を話すことに慣れてきている。このことが、書く力や読む力を付けるという相乗効果を生んできている。教育課程実施状況調査との比較などから、「木二中 フロンティアスクール2年間の歩み(仮称)」でその考察結果を述べたいと考えている。

2 今後の課題

- 習熟度別少人数授業やTTによる授業で、そのねらいに応じた活用の仕方を整理すると共に、指導の成果を数値で考察すること。
- 周辺校、フロンティアスクールどうしの情報交換を更に進め、成果の共有化を図る。

Ⅳ 学力把握のための学校としての取組

- 「内容のまとめり」ごとの目標達成状況の把握  
小テスト(5分前後で実施)…… 基礎的・基本的学力の定着をみる

- 「単元」ごとの目標達成状況の把握  
 学習状況調査（20分前後で実施）…… 単元を貫く基礎的・基本的学力と  
 応用問題や次ぎの単元のレディネスを  
 調査する

これらの他に、定期テスト、復習確認テストなども実施している。

V フロンティアスクールとしての研究成果の普及

- 授業研究会は2学期に複数回実施。近隣の学校に職員の参加を呼びかけている。
- HPの作成については、15年度不十分で、16年度に課題を残した。
- フロンティアティーチャーとしては、英語科の高橋教諭が学区の2つの小学校に出向き、中学校の『出前授業』を3時間ずつ6年生に行った。どのクラスでも、嬉々として授業に参加する児童の姿があり、たいへん好評であった。来年度は、数学や理科などでも実現したい。

◆ 次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。

- |                      |   |  |   |   |
|----------------------|---|--|---|---|
| 【新規校・継続校】            | <input type="checkbox"/> 15年度からの新規校   | <input checked="" type="checkbox"/> 14年度からの継続校   |   |   |
| 【学校規模】               | <input type="checkbox"/> 3学級以下<br><input type="checkbox"/> 7～9学級<br><input type="checkbox"/> 13～15学級    | <input type="checkbox"/> 4～6学級<br><input type="checkbox"/> 10～12学級<br><input checked="" type="checkbox"/> 16学級以上 |   |   |
| 【指導体制】               | <input checked="" type="checkbox"/> 少人数指導<br><input type="checkbox"/> その他                               | <input checked="" type="checkbox"/> T. Tによる指導  |   |   |
| 【研究教科】               | <input type="checkbox"/> 国語<br><input checked="" type="checkbox"/> 外国語<br><input type="checkbox"/> 保健体育 | <input type="checkbox"/> 社会<br><input type="checkbox"/> 音楽<br><input type="checkbox"/> その他                       | <input checked="" type="checkbox"/> 数学<br><input type="checkbox"/> 美術 | <input type="checkbox"/> 理科<br><input type="checkbox"/> 技術・家庭 |
| 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 |   | <input checked="" type="checkbox"/> 有  | <input type="checkbox"/> 無  |   |